



NAS 410 に基づく非破壊試験技術者資格試験

2025 年 12 月実施
[レベル 2 (PT・MT・UT)・3 (PT・MT・UT)]

受験案内書

【申請受付期間】

2025 年 9 月 30 日（火）～10 月 14 日（火）17 時まで

一般社団法人日本非破壊検査協会
航空宇宙非破壊試験技術者認証事業本部

[ホームページ <<http://www.jsndi.jp/qualification/index13n.html>>]

【目次】

1. 受験手続きの流れ・試験関連日程.....	- 1 -
2. 試験の概要	- 2 -
3. 受験申請方法.....	- 8 -
4. その他	- 8 -

1. 受験手続きの流れ・試験関連日程

手続きの流れ	日程及び留意点
受験申請フォームの入手	当協会 HP より受験申請フォームのファイルをダウンロードしてください。
受験申請受付開始	2025 年 9 月 30 日（火） ※受験申請は指定の受験申請フォームを使用し、必要な添付書類と合わせて電子メールにて<jsndi-aero@jsndi.or.jp>まで提出してください。なお、再試験受験申請で事前に提出が必要な書類は受験申請フォームのみです。試験当日に再訓練の訓練実施記録を持参してください。
受験申請受付期限	2025 年 10 月 14 日（火）17 時まで
受験票送付	2025 年 11 月 25 日（火） ※電子メールにて送付します。 ※受験票が翌営業日 17 時時点で未着の場合は、翌々営業日 17 時までに事務局(03-5609-4014)に連絡してください。
試験日程	【レベル 2・3】 2025 年 12 月 2 日（火）～5 日（金） ※試験日時は当協会が NDT 方法及びレベル等により割り当てを行います。受験者は受験票で日時を確認してください。 ※試験会場は全日程とも兵庫県立工業技術センターです。
試験結果通知送付	2026 年 1 月発送予定
適格性証明書の発行	2026 年 2 月以降 ※試験合格後、適格性証明書の発行申請が可能です。合格者は、結果通知に同封されている適格性証明書発行申請案内を確認してください。

【特記事項】

- NAS 410 の改正に伴い、受験申請までに、規定の訓練の要求に加えて、規定の OJT 経験が要求されます。
- 試験に不合格となった場合、次回及び次々回に実施される試験を「再試験」として 2 回に限り受験することができます。再試験の受験を希望される場合は、不合格となったパート（専門・実技試験）の再訓練を受ける必要があります（一般試験のパートについては、各自で自己学習してください）。
※レベル 2 の再訓練については、2 頁目に記載の訓練機関に問合せください。
※レベル 3 の再訓練については、当協会（03-5609-4014）に問合せください。

2. 試験の概要

(1) 実施する試験の種類及び試験科目

試験の種類（略称）	レベル	試験科目
浸透探傷試験（PT）	レベル 2	筆記試験（一般試験、専門試験）、実技試験
磁気探傷試験（MT）		
超音波探傷試験（UT）		
浸透探傷試験（PT）	レベル 3	筆記試験（一般試験、専門試験、実技試験） ※必要に応じ、レベル 2 同等の実技試験
磁気探傷試験（MT）		
超音波探傷試験（UT）		

(2) 受験申請資格

1) 各レベルの受験申請資格（各 NDT 方法共通）

※○：要求、－：要求なし

要求事項	レベル 2	レベル 3
下位レベルの資格保有	－	○ (※過去に保有しており、 現在有効でない場合も可)
下位レベルの訓練受講	－	－
申請レベルの訓練受講	○	－ (※推奨)
経験	○	○
視力証明	○	○

※再試験受験申請では、不合格パートの再訓練受講のみが要求されます。

2) レベル 2 の受験申請資格の詳細（※レベル 3 については次項「3）」を参照のこと。）

a) 申請レベルの訓練受講

NDT 方法及びレベル別の訓練要求時間は、表 1 の通りです。

【表 1. レベル 1 及びレベル 2 に対する最小訓練時間（単位：時間）】

NDT 方法	レベル 1	レベル 2 (レベル 1 認証保有者)	レベル 2 (レベル 1 認証を 保有していない者)
PT	16	16	32
MT	16	16	32
UT	40	40	80

※再試験受験申請では、不合格パートの再訓練受講のみが要求されますので、必要な訓練時間は上表とは異なります。訓練機関の HP にて再訓練の案内を参照してください。

NANDTB-Japan が承認した以下の訓練機関にて、該当する NDT 方法及びレベルの訓練を新規受験申請までに受けてください。訓練最終日に発行される訓練実施記録を受験申請時に提出してください。再試験受験申請の場合、不合格パートの再訓練の受講が要求されます。再試験受験申請までに再訓練の申込をしてください。再訓練最終日に発行される訓練実施記録を試験当日に持参のうえ、提出してください。

- ・航空産業非破壊検査トレーニングセンター（※MT・PT・UT）
〒654-0037 兵庫県神戸市須磨区行平町 3-1-12 兵庫県立工業技術センター内
HP: < <https://www.hyogo-kg.jp/about/koku> >

【訓練に関する注意事項】

- ・訓練（応用講習）の受講を申請する場合には、該当する NDT 方法及びレベルについて、当協会の発行する JIS Z 2305 資格を保有するか、当協会の定める訓練実施記録（基礎講習）の提出が必要です。JIS Z 2305 以外の資格として、ASNT 発行の ACCP 資格又は BINDT 発行の PCN 資格（航空宇宙セクター除く）も認められます。
- ・訓練を受講してから 1 年以上が経過した場合、リフレッシュ訓練を受講する必要があります。
- ・訓練実施記録の有効期間は 3 年間です。訓練を受講してから 3 年以上が経過した場合、新たに訓練を受講する必要があります。

b) 経験（OJT 記録の提出）【※再試験受験申請では不要です。】

NDT 方法及びレベル別の経験要求時間は、表 2 の通りです。NAS 410 の改正（Rev.5）により、受験申請前に経験（OJT）の要求事項を満たす必要があります。

【表 2. レベル 1 及びレベル 2 に対する最小経験時間（単位：時間）】

NDT 方法	レベル 1	レベル 2 (レベル 1 認証保有者)	レベル 2 (レベル 1 認証を 保有していない者)
PT	130	270	400
MT	130	400	530
UT	200	600	800

※灰色塗りつぶし箇所：今回の申請対象外

【経験に関する注意事項】

- ・OJT 記録証明書の表紙は当協会 HP よりダウンロードして記入してください。
- ・ログブックは各社の様式で作成してください。ただし、OJT 実施者の氏名、Responsible レベル 3 の氏名を記載し、Responsible レベル 3 の資格証明書スキャンデータを添付してください。
- ・経験時間に訓練（試験対策含む）を含めることはできません。
- ・リモート OJT によるものではなく、ダイレクトオブザベーションにより OJT を実施する必要があります。

c) 視力証明【※再試験受験申請では不要です。】

近視力及び色覚の検査を実施した記録（当協会指定の様式 V-2（当協会 HP よりダウンロード））を提出してください。様式 V-2 には、検査実施証明として医療機関の証明書（診断書）の添付、又は NAS 410 Responsible レベル 3 保持者が承認した者の署名が要求されます。なお、近視力及び色覚検査の詳細は次の通りです。

- ・近視力：NAS 410 に規定されている Snellen 又は Jaeger、ISO 18490 に基づいて実施
- ・色覚：申請する NDT 方法において業務上支障がないことを検査実施者・証明者が証明すること。（色覚検査表等の使用例：石原式色覚検査表）

3) レベル 3 の受験申請資格の詳細

a) 下位レベルの資格保有【※再試験受験申請では不要です。】

次のいずれかの場合に、レベル 3 の受験申請をすることができます。なお、再試験受験申請では以下の内容を新規受験申請時に確認しているため、提出は不要です。

- ・現在有効なレベル 2（NAS 410/EN 4179）資格を保有
- ・現在有効なレベル 2（NAS 410/EN 4179）資格を保有していないが、過去に保有していた方のうち、業務に製品の合否判定が含まれる方（※レベル 2 同等の実技試験の受験が要求されます。）

b) 申請レベルの訓練受講

レベル3新規受験前に、当協会主催のJIS Z 2305 レベル3の訓練受講を推奨しております。ただ、開催時期によっては、本試験前に受講できない場合もあります。なお、レベル3新規受験前の訓練受講は必須ではありません。ただし、レベル3再試験受験前の訓練は要求されます。再訓練の詳細については当協会（03-5609-4014）まで問い合わせください。

c) 経験証明書【※再試験受験申請では不要です。】

レベル3受験申請に要求される経験期間は、表3の通りです。「レベル3申請用 レベル2経験証明書」（当協会HPよりダウンロード）を作成のうえ、提出してください。

【表3. レベル3受験申請に要求される経験期間（各NDT方法共通）】

学歴	経験要求期間
①学歴不問	レベル2の経験が4年間
②専門学校、単科大学又は総合大学で 2年間の工学又は科学を履修	レベル2の経験が2年間
③科学又は工学の学士号取得 (3～4年間の大学により取得したもの)	レベル2の経験が1年間

d) 視力証明【※再試験受験申請では不要です。】

近視力及び色覚の検査を実施した記録（当協会指定の様式V-2（当協会HPよりダウンロード））を提出してください。様式V-2には、検査実施証明として医療機関の証明書（診断書）の添付、又はNAS 410 Responsible レベル3保持者が承認した者の署名が要求されます。なお、近視力及び色覚検査の詳細は次の通りです。

- ・近視力：NAS 410に規定されているSnellen又はJaeger、ISO 18490に基づいて実施
- ・色覚：申請するNDT方法において業務上支障がないことを検査実施者・証明者が証明すること。（色覚検査表等の使用例：石原式色覚検査表）

(3) 受験申請書類について

受験申請前に、下表の書類を準備する必要があります。電子メールでの申請になりますので、①の受験申請フォーム以外はすべてスキャンデータを提出してください。書類の原本は申請者又は申請者の雇用責任者が保管し、当協会にはスキャンデータを提出してください。なお、受験申請をする際には、雇用責任者の承認が必要です。

※○：要提出、－：提出不要、△：必要に応じて要提出

受験申請書類	レベル 2		レベル 3	
	新規	再試験	新規	再試験
① 受験申請フォーム(当協会 HP よりダウンロード)	○	○	○	○
② 下位レベルの資格証明書	-	-	○	-
③一般試験の免除申請書類 (次項の「(4) 一般試験の免除申請」に該当する場合に要提出)	△	-	△	-
④申請レベルの訓練実施記録 ※提出パターンは以下のいずれか。 ・基礎講習の訓練実施記録＋応用講習の訓練実施記録 ・③＋応用講習の訓練実施記録	○	試験当日 に要提出 (再訓練)	-	試験当日 に要提出 (再訓練)
⑤OJT 記録証明書 (表紙は当協会 HP よりダウンロード。ログブックは各社の様式で作成。ログブックには OJT 実施者の氏名、Responsible レベル 3 の氏名を記載し Responsible レベル 3 の資格証明書スキャンデータを添付。)	○	-	-	-
⑥レベル 3 受験申請用 レベル 2 経験証明書 (当協会 HP よりダウンロード)	-	-	○	-
⑦レベル 2 経験期間削減の証明書類 (学歴により経験期間を削減する場合に要提出)	-	-	△	-
⑧視力証明書 (当協会 HP よりダウンロード)	○	-	○	-

(4) 一般試験の免除申請【※再試験受験申請では不要です。】

一般試験については、次の条件のいずれかを満たす場合に受験免除の申請をすることができます。免除申請を行う場合は、該当する現在有効な資格証明書のスキャンデータを受験申請時に添付してください。

- ・当協会発行の JIS Z 2305 資格を保有
- ・ASNT 発行の ACCP 資格又は BINDT 発行の PCN 資格（航空宇宙セクター除く）を保有

※申請 NDT 方法・レベルと同じ NDT 方法・レベルの資格が対象となります。例えば、PT2 を申請の場合は PT2 が対象となり、限定 NDT 方法である PD2 の資格はこの一般試験の免除申請には使用できません。

(5) 合格済みパートの再受験申請【※再試験受験申請の方のみ要ご確認】

再試験では不合格のパートのみの受験が要求されますが、希望により、合格済みのパートを再受験することが可能です。「(7)合格基準」に記載の通り、各パートについて 70%以上の得点をしただけで、全パートの合計得点の平均点で 80%以上の得点をした場合に合格となります。全パートの合計得点の平均点を上げるために、合格済みのパートの再受験を希望する場合、受験申請フォームの該当欄に記入してください。

【注意点】

①合格済みのパートの再受験は、該当するパートの前回得点が 70%以上であり、再受験により前

回以上の得点を獲得する見込みがある方に推奨されます。

②合格済みのパートを再受験した場合、今回の試験結果が前回より下回った場合でも今回の試験結果が適用されます。今回の得点が 70%未満の場合は不合格となりますので、注意してください。

(6) 試験内容・出題形式・試験時間

試験内容・出題形式・試験時間は下表の通りです。

【レベル 2】

NDT 方法 レベル		出題形式		
		筆記試験		実技試験
		一般試験	専門試験	
PT	2	<u>多項選択式 40 問以上</u> (全 NDT 方法共通) <u>試験時間：90 分</u> クローズド試験*	<u>記述式 30 問以上</u> <u>試験時間：120 分</u> オープンブック 試験**	<u>試験体 2 体</u> ・蛍光水洗性 ・蛍光後乳化性 ・蛍光溶剤除去性 ※上記のうち 2 つを選ぶ <u>試験時間：120 分程度</u>
MT				<u>試験体 2 体</u> (蛍光－湿式) <u>試験時間：120 分程度</u>
UT				<u>試験体 3 体</u> ・接触法 (A スキャン斜角 反射法) 金属 ・接触法 (A スキャン垂直 反射法) 金属 ・水浸法 (C スキャン垂直 反射法) 複合材 <u>試験時間：180 分程度</u>

*クローズド試験：教科書などの参考文献を使用せずに受験する試験

**オープンブック試験：配付される特定の参考資料などを参照することができる試験

※レベル 2・3 の専門試験及びレベル 3 の実技試験 (手順書作成) については、英語文献を配付するため、電子辞書 (メモリ機能及び通信機能の使用不可) の持ち込みを許可します。

【レベル3】

NDT 方法 レベル		筆記試験			
		一般試験		専門試験	実技試験（手順書作成）
		基礎試験	申請 NDT 方法試験		
PT	3	多項選択式 (全 NDT 方法 共通)	多項選択式 申請 NDT 方法 40 問以上 試験時間：80 分 クローズド試験*	記述式 30 問以上 試験時間：120 分 オープンブック 試験**	記述式 1 問 NDT 手順書 試験時間：240 分 オープンブック 試験** ※必要に応じ、 レベル 2 同等の 実技試験
MT		(a) 材料工学、冶金及び NAS 410/EN 4179 に 従った認証制度 20 問以上、 (b) その他 4NDT 方 法×15 問の 60 問 以上（レベル 2 相 当）			
UT		試験時間： 160 分 クローズド試験*			

*クローズド試験：教科書などの参考文献を使用せずに受験する試験

**オープンブック試験：配付される特定の参考資料などを参照することができる試験

※レベル 2・3 の専門試験及びレベル 3 の実技試験（手順書作成）については、英語文献を配付するため、電子辞書（メモリ機能及び通信機能の使用不可）の持ち込みを許可します。

(7) 合格基準

各パートについて 70%以上の得点をしたうえで、全パートの合計得点の平均点で 80%以上の得点をした場合に合格となります。実技試験において決められた欠陥を検出できなかった場合は、不合格となります。

(8) 受験料

【レベル 2 新規試験】

110,000 円（税込み）（筆記試験 22,000 円（税込み）＋実技試験 88,000 円（税込み））

【レベル 3 新規試験】

110,000 円（税込み）

※レベル 2 同等の実技試験を受験する場合は、レベル 2 実技受験料 88,000 円（税込み）が追加されますので、合計 198,000 円（税込み）となります。

<特記事項>

- 1) 受験料は、受験申請受理後に受験票を送付する際、受験料請求書を同送します。試験前日までに振り込んでください。
- 2) 一般試験の免除申請の有無による受験料の変更はありません。
- 3) 再試験は不合格のパート（一般試験・専門試験・実技試験）を受験することができます。再試験の受験料は次の通りです。

・レベル 2 実技試験のみ再試験：88,000 円（税込み）

・レベル 2 筆記試験のみ再試験：22,000 円（税込み）（一般試験・専門試験の両方を受験する

場合もいずれか一方を受験する場合も、受験料は一律です。)

- ・レベル 3 再試験：110,000 円（税込み）（受験するパート数に関係なく、受験料は新規試験と同じです。）

- 4) 試験合格後に適格性証明書を発行する場合、適格性証明書発行料 33,000 円（税込み）（各 NDT 方法・レベル共通）が必要となります。

(9) 試験会場

兵庫県立工業技術センター（詳細は受験票にて案内します。）

3. 受験申請方法

受験申請は、指定の受験申請フォーム（HP からダウンロード）を使用し、必要な添付書類と合わせて受付期間内に電子メールにて提出してください。メール送信後、3 営業日以内に当協会から受理メールを送信します。受理メールが 5 営業日になっても届かない場合は、受験票発送予定日までに事務局（03-5609-4014）に連絡してください。

提出先：<jsndi-aero@jsndi.or.jp>

※メールの件名には、「NAS410 受験申請、申請 NDT 方法・レベル、申請者氏名」を入れてください。（例：「NAS410 受験申請 MT2 航空太郎」）

4. その他

最新の情報は、当協会 HP にて確認してください。

以上